

「ラジオあさいちばん ビジネス展望のホームページ」



NHKオンライン・NHKラジオ第1「ラジオあさいちばん ビジネス展望」ホームページより

ほとんど1時間に1〜2本のニュース、解説記事が送り出される。なにより無料というのは嬉しい。また、このサイトは、ニュースに混じって「ロイター調査」とか「株式見直し」といった調査モノ(?)が含まれているのがある。いずれも複数の市場の関係者などに(多分)電話取材して、それをすぐまとめて報じている。このあたりは新聞では真似ができないなど、つくづく思う。

なお、ロイターの携帯サイトでは速報のメール配信サービスを行っている。私も登録してあるが、延べ10人を超える専門家が登場するが、特にお勧めの回は、寺島実郎氏(日本総合研究所会長)、金子勝氏(慶応大学教授)、内橋克人氏(経済評論家)。さらには、林康史氏(立正大学教授)、田中直数氏(評論家)も面白いし、水谷研治氏(東京福祉大学大学院教授)は初心者にお勧めだ。

延べ10人を超える専門家が登場するが、特にお勧めの回は、寺島実郎氏(日本総合研究所会長)、金子勝氏(慶応大学教授)、内橋克人氏(経済評論家)。さらには、林康史氏(立正大学教授)、田中直数氏(評論家)も面白いし、水谷研治氏(東京福祉大学大学院教授)は初心者にお勧めだ。この番組は聞き逃したくないので、ラジオ付のICレコーダーにタイマーでセットしてあるくらい。もともと、聞き逃しても、1週間遅れでインターネット上で聞くことができるのはありがたい。時には、この10分弱のコメント(レクチャー?)を聞きながらメモを取ることも少なくない。日経新聞でいえば、マーケット総合面の左ページの肩にある匿名名物コラム、「天機小機」に匹敵する情報量はこのコラムの3倍だ。

さて、パソコンの環境が整っている会社で毎日チェックしているのが、ダイヤモンド社が運営するダイヤモンドオンラインと、楽天証券が開設するサイトだ。ダイヤモンドのサイトで重宝するのは、各界の専門家による時事解説。しかもその記事の本数、分量がたまたまではない。丁寧に読んでいたら明らかに仕事に差し支えてしまうほどだ。週刊誌を発行しながらこれだけの情報を無料で提供し続けるなんて、一昔前の常識

これもありがたい。しかも無料! 携帯といえ、日経新聞の記事サービスにも月間315円で申し込んであり、主要な記事10数本程度はその概要を電車や喫茶店で閲覧している。これをいわばインデックス代わりに利用し、気になる記事があれば新聞に当たることも多い。忙しいときには、この携帯サイトの日経記事をひたわり流し読みするだけで、新聞そのものは開かないこともままある。

後者の「ロシア政治経済ジャーナル」は、ロシア関係のメルマガではダントツのトップ記事。筆者は「1996年、日本人として初めてロシア外務省付属モスクワ国際関係大学(MGIMO)を卒業し、卒業と同時にカルムイキヤ自治共和国の大統領顧問に就任」と紹介されている。世界政治、経済を見る視点常人とは違うことが分かるだろう。

以上二つは、「基本的なものの見方」というレベルで国際的な感覚に触れるためには絶好のレポートであるといいたい。私は仕事柄、「日経新聞の読み方」や「マーケットメカニズムの考え方」「市場データの読みこなし方」といったセミナーをする必要がある。その場合、媒体として日経新聞そのものを利用するのが常なのだが、実は日経新聞以外にも、これだけ多種多様な情報源が私たちの周りに溢れかえっていることに今さらながら気付かされる。それと同時に、時代は確実に変わっているのだな、と思う。

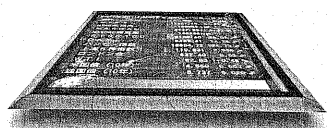
本

誌が刊行され、読者の方々の目に触れるのは3月も下旬であろうか。地域によっては桜が咲き始めているはずだ。私は本欄で「結果」だけではなく、「その結果、暫定的な結論を得るまでのプロセス」をできるだけ語ろうとしてきたつもりだ。それがどの程度成功しているかは心許ないが。今回は、私のB級情報探索術の一部をご披露しようと思う。まず私の朝は、6時34分からのNHK第一ラジオ、「ビジネス展望」を寝床で聞くことから始まる。この番組は多くの経済人にぜひお勧めしたい。10分程度のコーナーであるがとても密度が高い。その時々で最も旬なテーマについて、第一線級のプロ、専門家に電話口で話してもらおうという番組だ。アナウンサーの、非常にツボを得た質問に答える格好で、そつなく時事解説を行う。生放送だけに、その日の6時からのニュースについてのコメントや感想を電話口向こうの出演者に聞く、なんてこともある。

延べ10人を超える専門家が登場するが、特にお勧めの回は、寺島実郎氏(日本総合研究所会長)、金子勝氏(慶応大学教授)、内橋克人氏(経済評論家)。さらには、林康史氏(立正大学教授)、田中直数氏(評論家)も面白いし、水谷研治氏(東京福祉大学大学院教授)は初心者にお勧めだ。この番組は聞き逃したくないので、ラジオ付のICレコーダーにタイマーでセットしてあるくらい。もともと、聞き逃しても、1週間遅れでインターネット上で聞くことができるのはありがたい。時には、この10分弱のコメント(レクチャー?)を聞きながらメモを取ることも少なくない。日経新聞でいえば、マーケット総合面の左ページの肩にある匿名名物コラム、「天機小機」に匹敵する情報量はこのコラムの3倍だ。

携帯で十分情報をサーフィンできるのがある。昨今の経済、金融、マーケットを観察するに際しては、海外情報の重要度が昨年後半から格段に高まってきている。前日の米国や欧州発の情報のうち、重要なものをひたわりチェックしておかなければ、特にマーケットの方向性をどく分らない。そのため、常にグローバルレベルでの政治・経済の動きをいち早く伝えるロイターの情報は必須。

角川総一の



マーケット・リテラシー

金融市場を読む、解く、話す力を養う

File.042

ラジオやインターネットから重要な情報を得るための「B級情報探索術」

私たちの周りには日経新聞以外に有用な情報源が溢れかえっている